

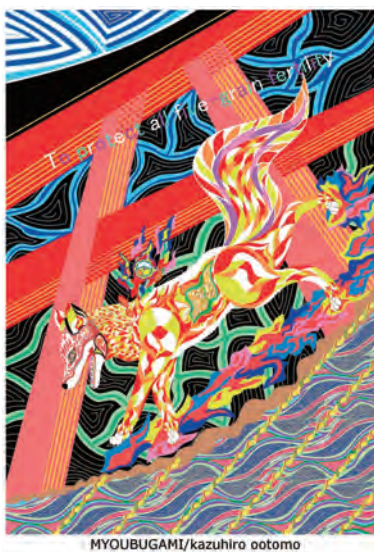
12月3日～9日は障害者週間です

市では「障害があっても 地域のつながりの中で いきいきと安心して暮らせるまち いわぬま」を第4期障害者計画の基本理念とし、一人ひとりが持つ個性や能力を十分に生かしながら、生きがいと役割を持つことができる地域づくりを推進しています。

絵を描く能力を仕事や生きがいにつなげている方の作品と共に、皆さんへのメッセージをご紹介します。

大友 和弘さん

身体障害



「MYOUBUGAMI」

筋ジストロフィー^{*}のため病院で過ごしながらかの創作活動をしています。一つの作品を作るのに3カ月程度かかります。5月に竹駒神社の参集殿にキツネを題材にした絵を飾らせてもらいました。これからも良い作品ができるように精進していきたいです。

^{*}筋肉が徐々に弱っていく進行性の病気で、国が指定する難病の一つです。

【支援者から】(独)国立病院機構

仙台西多賀病院 青山 玲子さん

大友さんは、唇の動きで反応するスイッチマウスを使用し、毎日パソコンで絵を描いています。迫力ある絵に病院の患者さんやスタッフも感銘を受けています。今はたくさんの方に作品を見てもらいたいと思っているようです。



雨森 蒼さん (ペンネーム)

精神障害



「たったひとつの」

就労支援で印刷物のデザインやイラストの制作をしながら、個人でイラストレーター兼作家として活動しています。個人の制作では誰かの明かりになることを目的に、自分の見えている世界を表現しています。同じものを見ていてもほかの人には違った形に見えるということを頭の片隅に置いてもらえたらうれしいです。

【支援者から】JOCA東北J'sWork

松尾 洋子さん

雨森さんの仕事はチラシや小冊子のデザインなど多岐にわたります。初めは戸惑うことも多かったと思いますが、今はソフト操作の腕前も上達し、打ち合わせにも積極的に入っています。作家活動も活発に行っていて、物作りへの刺激をもらっています。



問／社会福祉課 (☎23-0509)

寄付いただきました

(株)プロフィットビルから寄付金をいただきました。同社は、いわぬま大使でプロサッカー選手の大久保剛志さんが設立したサッカースクール「MYK FOOH BALL ACADEMY」のサポーター企業です。寄付金はハナトピア岩沼リニールに関する事業に活用されます。(10月7日)

金蛇水神社から寄付金をいただきました。寄付金はハナトピア岩沼リニールに関する事業に活用されます。高橋以都紀宮司は「子どもの遊び場ができて、市に子どもが増えることはとても良いことだと思う。金蛇水神社はハナトピア岩沼の近隣に位置していることもあり、リニールに向けて今後も市と連携していきたい」と話しました。(10月23日)



▲(株)プロフィットビル 白石俊一代表取締役会長(右から2人目)、黒澤英路代表取締役社長(右)、高野信義専務取締役(左)



▲金蛇水神社高橋以都紀宮司(右)

表敬訪問しました

イギリス・エセックス国際ジャンボリーおよび日本アグリーナリー参加報告のため、ボイスカウトの竹澤慧さん、竹澤佳穂さん、上女鹿鈴乃さん、大友智大さんが市長を表敬訪問しました。(10月15日)

国際ジャンボリーは、海外スカウトとの親善交歓を通じて国際理解と友情を深めることを目的に7月に開催され、日本アグリーナリーは、キャンプを通じて障害に関する理解を深め、人格と個性を尊重し支え合う社会の実現を目指すことを目的に8月に福島県で開催されました。

国際ジャンボリーに参加した大友さんは「いろいろな経験をすることができた。ジャンボリーで出会ったウクライナやイギリスなどの友人とは今も交流が続いている」と話し、日本アグリーナリーに参加した上女鹿さんは「自分たちで考えたゲームをたくさんの人に楽しんでもらえたうれしかった」と話しました。



▲右から上女鹿鈴乃さん、竹澤慧さん、竹澤佳穂さん、大友智大さん

日本フットサルリーグ「フリーグ」で活躍しているヴォスコアレ仙台の監督、選手らが市総合体育館でのリーグ開催を前に市長を表敬訪問しました。(10月28日)

平澤主将は「フットサルは小さなコートで行われる分、スピード感のある展開を楽しむことができる。室内競技で観戦者との距離が近く臨場感があるため、ぜひ会場に足を運んでほしい」と話しました。

11月10日に市総合体育館で開催された試合では、V.S.C.C横浜と対戦しました。



▲ヴォスコアレ仙台本間一真代表理事(右)、中島千博監督(左)、平澤凌主将(左から二人目)



▲試合の様子

北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されたら

8月8日、初の南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表されました。この情報の発表中、関東から九州の各地で、日頃からの地震への備えの再確認などが呼び掛けられました。

これは、**北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表された際に市民の皆さんに呼び掛けられる内容と同じです。**この機会に、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表された際に適切な行動をとれるよう、必要な情報を再確認しましょう。

詳しくは、内閣府ホームページをご覧ください。

問/危機管理課 (☎ 23-0356)



▲北海道・三陸沖後発地震注意情報



▲南海トラフ地震臨時情報